

2025 つながるフェス

～もとみや SMILE プロジェクト～

Q. プロジェクトではどんなことを行うんですか？（メディア情報学科・2年生）



福島県本宮市に訪問し、「田植え」「農作業体験（野菜の収穫）」「稻刈り」「お神輿担ぎ」を毎年行っています。その他、本宮市の観光地やパン屋さん、お菓子屋さん等を巡り、恒例の取り組みでは発見できない魅力を探索したり、特産品を使った料理の考案、商品の開発をしたりしています。すべての活動には、貫して本宮市の魅力を発信するという目的があります。Instagram の写真やキャプションを見ていただけだとイメージが湧きやすいかもしれません！個人的には、本宮市への訪問は、小・中学校の林間学校に似ているなど感じています。（管理栄養学科・4年生）



もとみや SMILE プロジェクトでは年に**4**回程現地を訪れます。田植え・稻刈り・秋祭りなど毎年行うものもあれば年度ごとに活動内容が変わることもあります。農家民宿に泊まらせていただきます。移動方法は基本的に**4**列バスです。1回の訪問に**8500**円程度(変動あり)事前にかかりますが全て込み込みなのでサービスエリアでのご飯代・お土産代でしかお金がかからないのでとても参加しやすいと思います。もちろん、参加も強制ではありません。他にも**2**年間を通して商品開発を行い、相生祭や相模原市農業まつり、浅草の物産展で販売を行いました。(社会マネジメント学科・2年生)



地域を盛り上げる活動であり、具体的には農作業体験や、お祭りに参加することです。(管理栄養学科・3年生)

Q. このようなプロジェクトに参加したことがないため、1番最初に参加しやすいプロジェクトはありますか？（日本語日本文学科・1年生）



もとみや SMILE プロジェクトでは、プロジェクトに加入していない子も参加できる公募の活動があるので、お試しで参加しやすいかもしれません。（管理栄養学科・4年生）



1番最初はもとみや SMILE プロジェクトがおすすめです！このプロジェクトは加入をしていなくてもモニターツアーに参加することができるからです！モニターツアーに参加して実際に体験していただくことで参加前にプロジェクトの雰囲気を知れるのでぜひ応募してみていただきたいです！(応募多数の場合、抽選となる可能性があります。ご了承いただけますと幸いです。)（社会マネジメント学科・2年生）



プロジェクトには、様々な期間なものがります。そのため初めから 2 泊とか 3 泊をすると疲れてしまうと思うので、1 泊のプロジェクトに参加するといいと思います。また、移動時間がとても長いプロジェクトもあるので、そのところも加味して考えると良いと思います。（管理栄養学科・3年生）

Q. 1人で参加することに不安があるのですが、参加されている方はどのような方が多いですか？（日本語日本文学科・1年生）



1人で参加している子と友達と参加する子が半々くらいかなという印象があります。よく初めて参加する学生さんから、同じような不安を聞きますよ。でも帰る頃には「不安だったけど参加してみて良かった」とお話してくれる子が多いです。誰とでも仲良くなれるフレンドリーな先輩がいるし、本宮市の方や連携教育推進課の職員さんも皆さんとても優しくて頼りになる存在なので、ぜひ一步踏み出してほしいです。（管理栄養学科・4年生）



もとみや SMILE プロジェクト体験会にはお友達と参加されている方もいらっしゃいますが、1人の方もたくさんいます！むしろ、プロジェクトに加入してみると、1人の方が圧倒的に多いです！私も最初、1人での参加で不安いっぱいでした。ですが、時間が経つにつれ、同世代の1人参加の子とお友達になったり先輩のお友達もできたりしてわいわいととても楽しいです！（社会マネジメント学科・2年生）



みなさん明るくて元気な方が多い印象です。プロジェクトに参加する方は協調性も高く、みんなで仲良くできてとても楽しいと思います。（管理栄養学科・3年生）

Q. 参加することのメリットとデメリットはありましたか？
(日本語日本文学科・1年生)



参加してすぐ感じられる分かりやすいメリットは単純に楽しいこと。ある程度時間が経って感じるメリットは、人間的に成長できている気がすること。デメリットは、あまり浮かばないのですが、強いて言えば土日、本宮市に訪問した後の月曜1限、2限は辛いです。（私は体力があまりないので）（管理栄養学科・4年生）



もとみや **SMILE** プロジェクトの参加したメリットは誰かの役に立てたり普段やらないことをやったりとやりがいを感じられることで大学生活のモチベーションが高くなりました。デメリットは訪問の際にのみですがお金がかかることです。（社会マネジメント学科・2年生）



メリットとしては新しい友達や先輩との交流ができること。地域のことをよく知れて、地域貢献を手伝うことができる事が挙げられます。デメリットとしては、農作業体験など身体をつかうプロジェクトが多いため、身体の疲労が少し

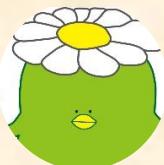
大きいところが挙げられます。（管理栄養学科・3年生）

Q. 授業と被ってしまった場合、どうされていましたか？

（日本語日本文学科・1年生）



授業を優先しています！！（管理栄養学科・4年生）



科目・2年生）

もとみや SMILE プロジェクトを欠席します。授業は立派な欠席理由になるため、正直に言って嫌な顔をされることはありません！（社会マネジメント学

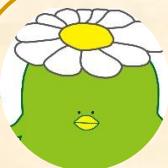


基本的に授業優先となると思います。（管理栄養学科・3年生）

Q. 大学在学中にプロジェクトに加入したいと考えています。現地での活動に特に興味がありますが、コスト面が心配です。加入したきっかけや経緯を教えてほしいです。
(人間心理学科・1年生)



入学して間もない頃、気が合う子が周りにおらず、学科以外のコミュニティに所属しなければ大学に行くのが嫌になりそうだなと考えていました。ちょうどそのタイミングでプロジェクト加入説明会についてのメールが来て、福島県に住んだこと也有ったため、興味が湧き、加入を決めました。（管理栄養学科・4年生）



もとみや SMILE プロジェクトではモニターツアーに参加した際に誘いを受けて加入しました！掛け持ちも大丈夫との事だったので加入させていただきました。コスト面では訪問の度に 1 万円程度かかってしまいます。ですが、大学や市からの補助やサポートがあって相場よりは安く参加できていると実感しております。訪問は強制参加ではないので余裕がある時だけ参加する！というのも手だとおもいます！（社会マネジメント学科・2年生）



私はあまりコストがかかるプロジェクトには参加していないので考えることは少なかったのですが、コスト面が心配であればコストのかからないプロジェクトや1万円からプロジェクトもありますので、そちらで検討していただければと思います。加入したきっかけとしては、何度か本宮にお邪魔させていただいた中でもっと深く関わりたいと考えたからです。（管理栄養学科・3年生）

Q. プロジェクトに参加したことは就職活動に活かせますか？

（日本語日本文学科・1年生）



何事にも当てはまることだと思いますが、参加して、プロジェクトの一員として頑張ったことや大変だったこと、大変だったことはどう乗り越えたのか等が語れるようになれば生かせると思います。逆に参加しても、ただ楽しかったで終わってしまうと就活に生かすのは難しいかもしれません。（管理栄養学科・4年生）

Q. 学業、アルバイト、プロジェクトの両立が難しく、来年からは就活も始まるのでどのように時間配分をしていたか教えていただきたいです。（人間心理学科・2年生）



やらなければならぬことが重なったら、その都度自分にとって何が大切なのかよく考えて、優先順位をつけることはしていましたが、細かく時間を決めていました。（管理栄養学科・4年生）



私はもとみや SMILE プロジェクトと復興支援学生ボランティア委員会、中央執行委員会、地域のボランティア活動、アルバイトを掛け持ちしています。どれも役職についていることがほとんどです。学業と就活を最優先とし、その他の活動がキャパオーバーになりそうな時は、なる前に包み隠さず仲間に相談をして調節をしています。素直にそれぞれに相談をし、負担を分散していただける環境であれば相談が手っ取り早い解決方法だと思います！参考になれば幸いです。（社会マネジメント学科・2年生）



プロジェクトに入ったのが最近なので参考になるかはわからないのですが。学業は基本的に空きコマを活用して課題などを終わらせるようにしていました。アルバイトは土日や、全休の日を活用してシフトを提出していました。プロジェクトがある日はだいたい事前にわかるため、時間の調節は簡単だったイメージです。
(管理栄養学科・3年生)

Q. プロジェクトメンバーを増やす為に行って良かったなと思う取り組みやイベントなどあれば教えてください。(英語文化コミュニケーション学科・3年生)



周りの友達をたくさん誘う！友達がまた別の友達を誘ってくれて連鎖的に増える可能性も。(管理栄養学科・4年生)



モニターツアーを通して現地を体験できるのが一番魅力が伝わり、メンバーを獲得しやすかったです。(社会マネジメント学科・2年生)

Q. プロジェクトで話を進める際に連絡を行っても返信がなく、話が進まないため一人で考えることがありました。そのような経験や、どのように対処すれば良いか教えてください。（健康栄養学科・2年生）



どうしても他の人に意見を求める場合は、個別でラインを使っています。

ただ、毎回それをするのは手間なので、一人で考えることもあります。今はAIが発達しているので、AIと考えても良いかもしれません。（管理栄養学科・4年生）

Q. 学業とアルバイトに加えプロジェクトのスケジュールがぎりぎりで両立が厳しいと感じたのですが、どのように調整しましたか？（健康栄養学科・2年生）



優先順位を考えていました。テストや重い課題の提出期限と、プロジェクトでの提出期限が近かったり、重なっている場合には、連携教育推進課の職員さんと相談して期限を延ばしてもらっていました。そういうときはアルバイトも減

らして調整しています。（管理栄養学科・4年生）



プロジェクトに入ったのは最近でしたが、学業は空きコマと何もない日の自宅学習。アルバイトは土日や全休の日を活用してやりくりしていました。（管理栄養学科・3年生）